

62th

延岡市美術展覧会 入賞・入選目録



彫刻・工芸部門 特選

「願望3ー(完成間近かな宇宙
ホテルから地球を観てみたい)」



日本画・水墨画・ちぎり絵等部門 特選
「湾に浮かぶブリ御殿」



写真部門 特選
「墨化粧」

会期:平成24年7月7日(土)~7月20日(金)

【休館日:7月10日(火) 7月17日(火)】

会場:延岡総合文化センター展示室1・2

【開館時間:AM 9時 ~ PM 5時】

主催:第62回延岡市美術展覧会実行委員会・延岡市・延岡市教育委員会・延岡市文化連盟

◇ 後 援 (順不同) ◇

宮崎県・宮崎県教育委員会・延岡市議会・延岡商工会議所・(社)延岡市医師会
延岡農業協同組合・(社)延岡市西臼杵郡薬剤師会・旭化成(株)延岡支社
九州電力(株)延岡営業所・ホテルメリージュ延岡・センコー(株)延岡支店
清本鐵工(株)・宮崎日日新聞社・夕刊デイリー新聞社・(社)延岡市歯科医師会

洋画

特選	延岡市長賞	Christopher Troutman	リサイクリングロ Recycling: Elve-Part Story	ファイブパートストーリー	木炭画	
準特選	延岡市教育委員長賞	田口昭	ウミ、 海、	ナンジカ 汝怒る事勿れ	コトナカ アクリル	
準特選	延岡市文化連盟会長賞	黒木日良志	ジュコン('12-8) 樹魂('12-8)		アクリル	
奨励賞	延岡市議会議長賞	武田昭三	カイツウ 海想		油彩	
奨励賞	延岡市教育長賞	村尾文子	イシ 岩		油彩	
奨励賞	延岡市医師会長賞	山崎愛子	コモレ 木漏れ	ヒの道	油彩	
奨励賞	宮崎日日新聞社賞	古小路禮子	いもうとー かわいい……		水彩	
奨励賞	延岡市美術展覧会 実行委員長賞	工藤俊英	メン お面さん	コドモ 子供が	ダイス 大好き	パステル
奨励賞	延岡市美術展覧会 実行委員長賞	藤本恵三	イシ 椅子と	モデル	版画	
努力賞		池田見一	6世紀のお友達、	トモダチ 巨	ニチワ 油彩	
無鑑査		後藤光雄	ボウ 貌		水彩	
無鑑査		工藤晏生	ユウスイ 湧水		アクリル	
無鑑査		八木隆幸	まるの詩・11～	ウタ 碑2	油彩	



入 選



秋岡 美幸	蝉が鳴く頃	油彩	黒木 光子	マイ・キッチン	水彩
井上 侑	森の歩道	油彩	小池 澄	年輪を重ねて	水彩
岩崎 奈美子	アジサイとバラ	油彩	JAMES HARRIS	THE FORBIDDEN FRUIT —	
岩永 莉里	冬日	油彩	志田 嘉嗣	里山の紅葉	油彩
上杉 良隆	水鏡	油彩	首藤 孝子	変容Ⅱ	油彩
上原 順子	はなつ	油彩	水津 保	闘(宇和島にて)	油彩
上山 晴久	Aloe2012(生)	油彩	高橋 絵美里	過ぎ去りし日々	水彩
江藤 繁	古木に若葉	水彩・アクリル	高橋 桂子	緑の中で	油彩
大貝 優乃香	喧騒の中に	油彩	高橋 忠彦	太魯閣峡谷	水彩
大久保 安一	干支大橋	水彩	田中 節子	祈Ⅰ	油彩
大坪 眞佐子	コミュニティ(いつ帰れるの?)	油彩	中城 廣美	妙光の桜(3.11の冥福を祈る)	油彩
小田 武徳	砕ける波	油彩	中森 亜紀	みなも	アクリル
小野 敏秀	樹木	アクリル	成合 英子	老木	水彩
甲斐 トシ子	鈿女の舞	水彩	野村 幸枝	希望	油彩
甲斐 眞	山に生きる	油彩	野村 豊	ともしび	油彩
甲斐 美保	故里の冬	油彩	本田 節江	夢の中に	油彩
梶本 アケミ	晩秋	油彩	森重 浩敏	静物	水彩
河野 杏香	落とし物	油彩	八木 千穂子	庭園Ⅷ 2012.6	水彩
久保 ケイ子	アジサイまつり	油彩	矢野 隆男	潮風	水彩

日本画・水墨画・ちぎり絵等

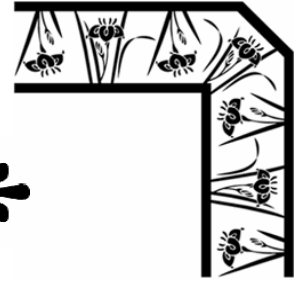
特選	延岡市長賞	原 辰 義	湾に浮かぶブリ御殿	剪画
準特選	宮崎県知事賞	豊田 ハルノ	タイジュ 大樹	ちぎり絵
奨励賞	延岡市議会議長賞	工藤 晏生	ハナ 華	日本画
奨励賞	延岡商工会議所会頭賞	古川 友江	ソラウミ 空と海	切絵
努力賞		牧田 かほる	シラカババヤシ 白樺林	ちぎり絵
無鑑査		小野 きよ子	清華 ツユソラ 梅雨空	ちぎり絵

入 選

海野 秋俊	南源 富士山	水墨画	谷本 広司	田起こし	水墨画
大槻 スエ子	南の島	ちぎり絵	富高 富子	復興への祈り(3.11)	ちぎり絵
岡田 千恵子	ぼたん	日本画	富山 千世	ウオーターヒヤシンス	ちぎり絵
工藤 俊英	自然のおくりもの・新緑の5月	切絵	西川 志づ	NAOKO☆アサガオ(2011)	日本画
佐藤 幸子	廃家のある風景	ちぎり絵	山内 登紀子	春満開	日本画
高橋 綾子	彩苑 われもこう(吾亦赤)	日本画	横山 一郎	西本願寺通り	水墨画



彫刻・工芸



特選	延岡市長賞	武田 弘子	願望3- (完成間近かな宇宙ホテルか、友禪染 ら地球を観てみたい)	
準特選	延岡市教育委員長賞	黒木 英勝	キンバクヨウヘンサラ ヒウガ ホシ 金箔曜変皿(日向の星)	陶芸
準特選	延岡市文化連盟会長賞	川崎 えつ子	トツ ヒ 嫁ぐ日	刺繍
奨励賞	延岡市教育長賞	田上 多津美	オウエンカ 応援華	友禪染
奨励賞	夕刊デイリー新聞社賞	浦崎 克記	ツユ アカ 梅雨の明	陶芸
奨励賞	ホテルメリーージュ延岡賞	大内 芳子	キズナ 絆	刺繍
努力賞		大塚 志穂	オモイ デ 思い出	染色
無鑑査		芝 行 則	シロイ カゼ 白い嵐	彫刻

入 選

上 村 洋 子	揺き落としランプートルコの想 い出-	陶芸	戸 塚 貞 子	ふる里山口によせて	刺繍
瓜 生 亜 里 沙	蒼碧	陶芸	成 岡 コ マ 子	初夏の香り	友禪染
小 田 美 保 子	幸せのバラ	友禪染	煮 玉 守	里山の狩人	パード カービング
甲 斐 紀 代 子	おもてなし	刺繍	原 澄 恵 心		陶芸
工 藤 武 人	溶岩流	陶芸	本 田 陽 子	蝶の舞い	パッチワーク
黒 木 千 里	悠悠	陶芸	松 永 茉 梨 愛	生命	ろうけつ染
関 武 司	陽炎II	陶芸	武 藤 勝	練込鎬紋水指	陶芸
高 橋 美 和 子	刺しゅうのかげく(日本の植物)	刺繍	森 福 子	香り流るる花	友禪染
高 見 昭 夫	花景色・煤竹風	竹工芸	安 田 和 子	華	刺繍
田 口 京 子	木乃春	友禪染	山 口 ゆ り	海.水指(茶道具)	陶芸
堤 和 子	130年の銀杏	パッチワーク	山 田 星 香	威徳	陶芸

グラフィックデザイン

特選	延岡市長賞	村田 滯矢	ミライ ^{タメ} の為に ^ロ 回ソコツ貯金! ^{チョコキン}
準特選	宮崎県教育長賞	義 経 優	お菓子 ^{カン} なカレー
奨励賞	延岡市議会議長賞	暎ヶ山 文子	おじいちゃん ^{ボク} にもできる?
奨励賞	延岡市美術展覧会 実行委員長賞	立石 利宏	コンメイ ^{ジダイ} 混迷時代の ^{コクハツシヤ} 告発者
努力賞		兒玉 桃子	ウチュウ ^ウ 宇宙クラゲ
無鑑査		木田 柁子	カタリベ ^カ 語部Ⅲ

入 選

赤 嶺 郁 美	ひろげる、ひろがる
池 澤 佳 澄	garden
池 田 亜 弓	私、人間じゃないよ!
岡 上 美 来	陸・海・空
岡 瑛 理	選ぶとしたら・・・
佐々木 美 鈴	個人情報漏洩中
田 中 翔	気付かない内に迷惑をかけてませんか?

谷 口 泰 代	If
福 田 真 継	ローズレッドの夜
藤 田 陽 菜	あなたの親心ずれてない?
山 口 夏 菜 恵	赤ちゃんの溺死
山 田 真 衣	そんなに必要ですか?
湯 畑 華 子	ホジホジ
和 田 直 樹	進め東北!!観光で復興を



書 道



特選	延岡市長賞	小坂千代子	千草	赤城館 <small>セキジョウカン</small>
準特選	延岡市教育委員長賞	伊藤由美子	春華	白玉の他一首 <small>シラタマ ほか1シュ</small>
準特選	延岡市文化連盟会長賞	牛迫孝子	春香	袁枚詩 <small>エンバイシ</small>
奨励賞	旭化成(株)延岡支社長賞	甲斐かおり	香風	元夕雨 <small>ゲンセキアメフル</small>
奨励賞	ホテルメリージュ延岡賞	柴田照子	空心	ひむがしの空より <small>ソラ</small>
奨励賞	延岡市歯科医師会長賞	谷口隆幸	鶴城	呉激詩 <small>ゴゲキシ</small>
奨励賞	延岡市美術展覧会実行委員長賞	青柳有伸	有玄	懐いを述べる <small>オモイヲノトベル</small>
奨励賞	延岡市美術展覧会実行委員長賞	富高梅生	玉振	孤雲野鶴 <small>コウンヤカク</small>
努力賞		西田登美子	美風	張継詩 <small>テウケイシ</small>
招待作家		岩下基	春来	漢詩 <small>カンシ</small>
招待作家		大塚洋子	葉風	残雪 <small>ザンセン</small>
招待作家・無鑑査		西村香枝子	和香	送許竹隱之紹興 <small>オウケルクウチクインユクシウコフ</small>
無鑑査		尾崎真人	宝舟	漢語 <small>カンゴ</small>
無鑑査		植野春雄	聖鳳	山陽詩 <small>サンヨウシ</small>
無鑑査		西村寿洋	玄洋	習隱

入 選

荒巻 孝行	大心	逍遙思慮閑・孤掌難鳴	城戸 裕行	鳳翔	崔評事弟許相迎
飯干 朗	千峰	間居	城戸 雅子	富翠	清明
上杉 秀子	秀香	水邨	坂本 淳	静峰	掩耳盜鐘、憑高眺遠
上杉 実妃	珠光	うす紅に	佐藤 ナオミ	翔華	苦熱
上野 和子	和風	白鳥は	篠原 和子	和葉	早春魚亭山
植野 寿美	寿泉	秋懐	田口 智子	春汀	筆の山
植野 幸雄	竹山	江上の吟	土井 広己		管鮑之交
植野 洋一	桂石	惱公(李賀詩)	年森 恵	祥雲	王昌齡詩
岡崎 亜希子	一華	浣花溪	中須 昭子	昭苑	王旭詩
緒方 和子	華苑	千字文一節	原田 さゆり	桑峰	次韻前篇
岡田 雅子	桃紅	秋懐	柳田 寿美蔵	空雲	幾山河
岡村 公子	瑛翠	夜泊吉陽湖	山浦 秀子	柏秀	遊漂陽北湖亭
小田 千穂	紅扇	峰かけて	山本 加代	涛香	賦得落日樓臺一笛風
小野 静	麗華	再到西村	吉玉 喜世子	喜風	游九日山題奉先院壁詩
甲斐 睦子	柏葉	送運判朱朝奉入蜀	渡邊 康子	翔香	清明日賈弘菴棲隱園社集
甲斐 洋子	春宵	鄭變詩			

写真

特選	延岡市長賞	池田 晃 二	スミ化粧 ^{スミ ケシヨウ}
準特選	延岡市教育委員長賞	甲斐 靖 一	ツキヨ月夜 ^{ツキヨ ホタル} の螢
準特選	延岡市教育委員長賞	三角 克彦	ゴールめざして
準特選	延岡市文化連盟会長賞	近 藤 勝	代キ遺跡 ^{代キ} の睡り ^{ネム}
準特選	延岡市文化連盟会長賞	黒木 憲 二	ウズメ鈿女 ^{ウズメ}
奨励賞	延岡市教育長賞	岩倉 一 紘	オオ大きく実 ^ミ って
奨励賞	旭化成(株)延岡支社長賞	宮 田 怜	マザ眼差 ^{マザ} し
奨励賞	延岡市医師会長賞	田 辺 文 昭	ル夜 ^ル の銀路 ^{ギンロ}
奨励賞	九州電力(株)延岡営業所長賞	小松 清 春	ひととき
奨励賞	延岡市西臼杵郡薬剤師会長賞	川 端 章	サ里 ^サ の春 ^{ハル}
奨励賞	延岡農業協同組合代表理事組合長賞	松尾 香代子	ランフ乱舞 ^{ランフ}
奨励賞	清本鐵工(株)社長賞	黒 木 茜	シツ疾駆 ^{シツ}
奨励賞	センコー(株)延岡支店長賞	中野 孝 一	ダルマの夜明 ^ヨ け
奨励賞	延岡市美術展覧会実行委員長賞	宮川 哲 朗	たそがれ
努力賞	努力賞	佐 藤 傳	オ落ち葉 ^ハ 遊 ^{アソ} び
無鑑査		工 藤 幸 夫	またね
無鑑査		高橋 ミサ子	マキシン好奇心 ^{マキシン}
無鑑査		後藤 司 郎	ラクエン楽園 ^{ラクエン}





入 選

青 山 紀 子	森の湖	木 場 富 次	熱視線
安 藤 泰 廣	お雛様が見ている裏通り	酒 井 義 満	トワイライト グリーン
飯 干 幸 一	お出かけ	佐 々 木 修	PUZZLE
家 森 忠 雄	大きくなーれ	佐 藤 卓 志	明神の舞
伊 東 英 一	故郷のバス停	塩 月 順 朗	老いて華やか
井 上 政 範	友情	雀ヶ野 秀 憲	迎え火
植 野 浩 人	孫がやって来た	染 矢 博 文	菜の花畑の働き者
衛 藤 惇 夫	禊の誓	高 島 章 碩	ローカル線残映
大 山 義 広	休日	高 見 秋 子	朝の光
岡 野 勉	桜花爛漫	竹 内 寛	花の縁
小 川 忠 之	天空の釣人	田 崎 淳	夕焼けの渚
甲 斐 勇	少女と紅梅	谷 久 美 代	オイラのねぐら
甲 斐 勝 子	私の愛車	千 葉 雄 一	後継者
甲 斐 民 人	墨付お嬢幸せいっぱい	趙 亜 鳴	路地裏の子供達
甲 斐 ツヤ子	マイ ハウス	中 瀬 林	初冬の詩
甲 斐 直 志	なかよし	長 友 道 生	桜花爛漫
甲 斐 均	キャンディー溶けるよ!!	新 田 芳 則	ウエイブ
甲 斐 正 之	暴走	林 喜 代 徳	阿蘇の野焼き
甲 斐 勇 一 郎	歳月	春 口 五 男	田園を巡る(田の神様)
笠 村 陽 一	オブジェのある古民家	前 田 佳 代 子	凝視
川 越 洋 治	愉快的仲間たち	御 手 洗 実	撮れるかな
河 野 康 哉	牛の居ない牧場	宮 良 信 道	波の足跡
菊 池 貢	白い牙	明 神 美 那 子	ユメミルコロ
木 谷 靖	辺境のくらし	森 守	一服
北 村 富 士 夫	昇陽	矢 野 仁 祺	子鹿
清 永 俊	夜桜	矢 野 征 生	銀閣の杜
児 玉 美 智 子	春の陽	山 中 正 宣	凜として
児 玉 由 美 子	これ、いかが		

審 査 講 評

(審査員の氏名は、敬称を略させていただきました。)

【洋画部門】

北九州市（洋画家） 安田 潤児

私はこの度、二回目十年ぶりに審査の機会をいただき身にあまり光栄に大変感謝し嬉しく思っています。延岡市のスローガンに 市民力・地域力・都市力が躍動するまちーのべおかとあるように産業の営みと同様に地域文化活動の盛んなことに再度感動いたしました。

今回も例年変わらず多数の力作が出品されましたが、会場での展示の関係上多くの出品を選外とせざるを得ない厳しい審査となりました。

今年度の審査結果の感想としては 全ての作品が独自の方法で完成度の高い作品に仕上がっているのに感心しました。それぞれ優劣つけがたく、選ぶのに大変苦労しました。

特選の作品 Christopher Troutman さんの「Recycling:Five-PartStory」は、画面を5分割にしながらも一つの作品として仕上げ、確かなデッサンに裏打ちされた力強いタッチと構成力で、素晴らしい作品だ。生活感あふれる点も心憎い。

準特選の二点も発想が独創的で、技術的にもすばらしく大変な労作である。田口昭さんの「海、汝怒る事勿れ」、黒木日良志さんの「樹魂（‘12-8）」も生命感あふれる作品だ。

その他の作品についても延岡から生まれた、延岡の人でないと画けないと思われる作品も多くあり、審査する側からすると楽しく、うれしいことである。

中でも古小路禮子さんの「いもうとーかわいい…」は、なんともほほえましく会場が一気に明るくなるのでは。

審査を終えていつも感じる事は、自分の作品を人に見てもらってその作品が完成し、貫禄がついて帰って来る 自分の作品に自信を持ち、しつこく画き続ける事の大切さをいつも感じる。こだわりを持って製作することが個性として現れると思う。

市展として、全国どこからでも出品できる展覧会は、延岡市美展の他には聞いた事がなく、今後も質の高い作品の出品を願い、新しい展覧会が生まれることを期待します。

【日本画・水墨画・ちぎり絵等部門】 大分市（大分県立芸術文化短期大学教授） 河上 央

今年で第62回目を迎える延岡市美術展。昨年に引き続き審査を担当させていただきました。昨年の審査では、特選に選ばれた作者は県外の方であったと記憶しています。今年も広範囲の応募者と地元の方々の沢山の応募を期待して参りました。審査は前回同様に、応募作品を全部並べてじっくりと時間をかけて観るところから始めました。今回も作品点数の多かったのはちぎり絵でした。風景や植物といった大自然を題材にした作品が目につくと同時に、これらの作品から熱心に作品に取り組んでいる姿勢を感じ取ることができました。

また、表現方法の違いはありますが、全体に優しい落ち着いた作品が多く見受けられました。今回の審査では、どちらかと言えば新しい表現に期待を持ち、そのような作品を推す様にこころがけました。ただ、作品審査には入選点数が決められていますので、惜しくも今回入選されなかった作品にも

優劣つけがたい作品が数多くあったことを述べておきます。

入賞を選んだ作品について述べたいと思います。

特選の原辰義さんの「湾に浮かぶブリ御殿」まず目につくことは、丹念に緻密に切られた作品です。写実的に対象をとらえた力作だと思います。

準特選の豊田ハルノさんの「大樹」見上げた視点で繊細にちぎり絵で表現しています。好感のもてる作品です。

奨励賞の工藤晏生さんの「華（はな）」大胆に画面大きく花を描いています。力強さを感じます。

奨励賞の古川友江さんの「空と海」非常にユニークな表現方法です。

努力賞の牧田かほるさんの「白樺林」素直に真正面に取り組んだ作品です。

最後になりましたが、毎年開催される延岡市美術展の実行委員の方々のご苦勞は大変なことと思います。これからも益々のご発展を祈念いたしまして審査の講評とさせていただきます。

【彫刻・工芸部門】

福岡市（九州造形短期大学教授）

辻嶋 寿憲

今回初めて「延岡市美術展」を拝見し、また「彫刻・工芸部門」の審査を、務めさせていただきました。出品数の多さと、表現の多彩にまず感動するとともに、延岡市の持つ、美意識の高さと創造力の豊かさを、実感いたしました。応募作品五八点の中から、二九点の作品を選出し、その中から七点の受賞作品を決定いたしました。今回は約半数の作品が選外となりましたが、その中にも展示にふさわしい作品が多数含まれており、本美術展の審査の難しさと、その重責を、痛感いたしました。しかしながら、工芸部門の出品作品の多彩さに比べ、彫刻部門の出品がほとんどなかったことは、たいへん残念に思われました。力ある彫刻作品の出品が大いに期待されることです。それでは、出品作品を技法・素材によりいくつか分類して感想を述べさせていただきます。

「陶芸作品」

陶芸作品は、澁瀨とした表現の豊かさと、それを支える技術の確かさが、どの作品にも見受けられました。準特選受賞作品 黒木英勝さんの「金箔曜変皿（日向の星）」は、五十センチメートルを超える直径の大皿を破綻なく碾き上げた技量の確かさとともに釉芸のおもしろさ、金彩を加えた色彩感に感心しました。

「染織作品」

染色、パッチワーク、刺繍、と、織以外のほとんどの「染織技法」が出そろい、その多彩さに驚くとともに、造り手の層の厚さを感じました。特に、延岡の地で、友禅染の作家が多数いらっしゃることに、喜びと感動を覚えました。特選となった武田弘子さんの「願望3－（完成間近かな宇宙ホテルから地球を観てみたい）」は、技術の確かさもさりながら、「宇宙ホテル」という近未来的なモチーフと着物という伝統的な意匠の見事な出会いに感動しました。地染の微妙な色合いも、軽妙な文様モチーフを、しっかりと落ち着かせています。

「木竹工芸」

今回、無鑑査の作品を含め、三点の出品がありましたが、どの作品も素材特性をしっかりと見極めたうえで、大胆さと繊細さが表裏一体となった表現を、確かな技が支える見事な作品でした。

竹芸には何か当地に伝わる技法などがあるのでしょうか。自然にめぐまれた延岡の地において、木竹という素材を活かした作品が、さらに多数出品されることを、期待します。

【グラフィックデザイン部門】

熊本市（（社）日本グラフィックデザイナー協会本部運営委員
（九州地域担当）・崇城大学芸術学部教授） 岩上 孝二

延岡市美展の審査に4年ぶりに伺わせて頂きました。出品点数が一時増加傾向にあったようだが、今年は33点と減少傾向にあり残念である。前にも書いたが、美術関連の教育時間の減少に比例している表れだろうが、将来の時代を担う子どもたちの感性や情操、コミュニケーションとしての表現力の欠如に繋がるのではと危惧している。是非とも改善を望みたい。

延岡市美展のグラフィックデザイン部門には「テーマ」が設定されていないが、ポスター公募展においての評価基準になるのは、その社会性、時代性の読み解きである。ゆえに今日の社会問題や、地球規模の環境問題、人間関係などのメッセージを視覚表現したビジュアルコミュニケーションデザインを評価した。卓越した技術のみで、いわゆる『絵』を描いても評価しにくい分野である。今回も出品作品のほとんどが、パソコンでの制作・出力ではなく、しっかりした手描きで、表現に力強さも感じた。完成度が高いとは言えないが、今日のデジタル時代だからこそ、アナログの持つ根源、基礎力を再確認し、新鮮さを感じた。上位受賞者は高校生との事、指導された先生にお礼を述べたい。

特選の村田滯矢くんの作品「未来の為にコツコツ貯金！」は、「見えるよ、夢への貯金」のコピーに、一番に注目した。先の見えない時代と言われながら、失礼ながら驚きをもって高校生が夢に向かってゆく姿に惹かれてしまった。画面構成、タイポグラフィのレイアウト共に、とても魅力的な作品だった。

準特選の義経優さんの作品「お菓子なカレー」は、まさに時代を読み解き、子供達の食事のみだれ。「食育」にも繋がるテーマである、「健全な食生活の実践こそが人間を育てる」ととてもメッセージ性の高い作品として評価した。

奨励賞の2作品は、テーマ性と表現力のオリジナリティを評価した。

努力賞の兒玉桃子さんの作品「宇宙クラゲ」は私小説的なテーマではあるが、卓越した表現力、構成力を評価した。

【書道部門】

福岡県（日展会友・読売書法会理事） 二宮 欣山

延岡市美術展の書道の部審査を初めて担当させて頂きました。

今年は昨年並みの出品数でしたが幅広い層の作品を鑑ることができ本展62年という深い文化の歴史を感じました。

作品は総体的に感性豊かでレベルの高い作品が多く出品され審査は古典を探求しその糧に個性（創意工夫）が加味された意欲的な作品、風格を感じる錬度の高い作品等に留意し慎重に鑑別選考をさせて頂きました。

限られた枠内での選考であり賞を逸した良い作品もあり大変厳しいものとなりました。作品は何を表出するかが肝要だと思います。来年度も更なる精進を期待しております。

○特選 小坂千草さん「赤城館」

単独体で大胆な運筆によって生れる重厚で厳しい線、墨量の迫力は観る者を圧倒し堂々たる作。

○準特選 伊藤春華さん「白玉の他一首」

繊細で錬度のある線、ポイントでの墨法と字形の疎密を生かし完成度が高く表出された作。

○準特選 牛迫春香さん「哀枚詩」

鍛えた線と会得した形、墨量の分布等が実に幅広い表現で明るく仕上がった作。

【写真部門】

東京都（（社）日本写真家協会名誉会員・（社）日本写真協会顧問） 齋藤 康一

前年より多少応募が増え164点となりました。市展とすれば可成り上質な作品が揃ったと思います。ただ残念に思ったのは、いずれの写真展にも言えることですが風景作品の応募が少ないことです。どうも応募される人々の中には風景作品を出しても、どうせ入らないと言った思い込みがある様にも思えます。応募が少ないから入賞しない、入賞しないから出しても駄目と悪循環になっているとも思われます。

特選 延岡市長賞となった池田晃二さんの「墨化粧」は顔や体に墨を塗りつけるお祭と思いますが、老婦人に後ろから抱き付く形で顔に墨を付ける姿がユーモラスでもあり、思い切りアップにした表情も楽しそう。しっかりとしたフレーミングとシャッターチャンスは見事と思いました。

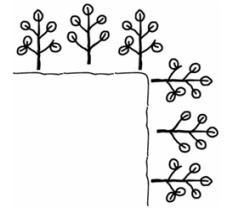
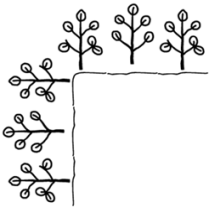
準特選 教育委員長賞の甲斐靖一さん「月夜の螢」は、ある種決ったパターンの作品とも言えますが、月の入れた位置に対しての二匹の螢と草の入れ工合がバランス良く格調高い見事な作品と思いました。

同じく準特選 教育委員長賞の三角克彦さん「ゴールめざして」は題名通りにゴール寸前の力漲る瞬間を望遠レンズに依りバックを暈し主役を浮き立たせています。表情も良かったし周辺の雰囲気もよく出していると思いました。

準特選 文化連盟会長賞の近藤勝さん「遺跡の睡り」は茜色に染まった空に対し遺跡を形良くシルエットにしながらかつを二羽、形良く入れています。総ての条件を上手く生かした良い作品と思いました。

同じく準特選 文化連盟会長賞の黒木憲二さんの「鈿女（うずめ）」は雨晒しになった石の質感を出しながら形よくフレーミングしています。口にお賽銭が置かれているのもご愛嬌、実物は「道の駅」に有るモニュメントだそうですが、この作品で見る限り神々しい感じに見えます。

奨励賞の中でも岩倉一紘さんの「大きく実って」、宮田怜さん「眼差し」、田辺文昭さん「夜の銀路」は準特選に値する作品と思いました。



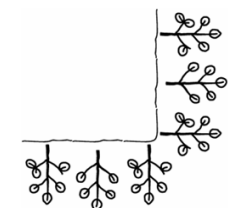
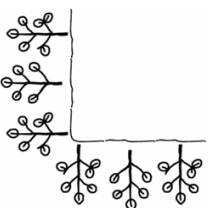
◆第62回『延岡市美術展覧会』作品出品状況

※（ ）内は昨年度

部 門	出品者数		出品作品数			C 招待作家 無鑑査	合計 (無鑑査等含む)	
	A	うち2点 出品者	一般	学生	B 小計		出品者数 A+C	作品数 B+C
洋 画	78 人 (61)	15 人 (18)	83 点 (73)	10 点 (6)	93 点 (79)	3 人 (3)	81 人 (64)	96 点 (82)
日本画・水墨画 ちぎり絵等	28 人 (31)	5 人 (3)	33 点 (34)	0 点 (0)	33 点 (34)	1 人 (1)	29 人 (32)	34 点 (35)
彫刻・工芸	48 人 (36)	10 人 (9)	53 点 (39)	5 点 (6)	58 点 (45)	1 人 (2)	49 人 (38)	59 点 (47)
グラフィックデザ イン	32 人 (11)	1 人 (0)	3 点 (3)	30 点 (8)	33 点 (11)	1 人 (0)	33 人 (11)	34 点 (11)
書 道	66 人 (68)	2 人 (0)	64 点 (68)	4 点 (0)	68 点 (68)	6 人 (5)	72 人 (73)	74 点 (73)
写 真	116 人 (110)	47 人 (48)	163 点 (157)	1 点 (1)	164 点 (158)	3 人 (3)	119 人 (113)	167 点 (161)
合 計	368 人 (317)	80 人 (78)	399 点 (374)	50 点 (21)	449 点 (395)	15 人 (14)	383 人 (331)	464 点 (409)

※<招待作家>・・・全国規模の公募展で、顕著な結果を残された方の作品

※<無鑑査>・・・「特選 延岡市長賞」を通算3回受賞された方の作品





洋画部門 特選
「Recycling: Five-Part Story」



グラフィックデザイン部門 特選
「未来のためにコツコツ貯金！」



書道部門 特選
「赤城館」